

[西秋川衛生組合ごみ処理施設整備・運営事業の計画事業概要]

本組合では、現施設に関する課題事項として

- 1 ごみ処理施設が、稼動から30年以上が経過し老朽化がすすんでいること。
- 2 資源化、減量化の向上を図ること。
- 3 ごみの熱エネルギーの回収を行うこと。
- 4 最終処分場が近い将来満杯となってしまうこと。

があげられます。

これらの課題事項を解決するために、次表の施設を一体的に整備し、安全・安定運転による適正処理の継続、資源化率と熱回収の向上、最終処分場の掘り起こし再生を行うとともに、より一層の圏域内の生活環境及び周辺地域の自然環境の保全に十分配慮した、循環型社会の構築に資する事業運営を目指します。なお、事業方式は、事業者が施設の設計(Design)・建設(Build)・運営維持管理(Operate)を一括して発注する方式です。(DBO方式)

施設名称	施設の内容	処理対象ごみ	備 考 (付帯設備等)
熱回収施設	<ul style="list-style-type: none"> ・炉形式：流動床式ガス化溶融炉 ・処理能力：117 t／日 (58.5 t／日×2系列) 	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ ・不燃粗大ごみ処理設備からの処理残渣 ・リサイクルセンターからの残渣 ・最終処分場の掘り起こしごみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃粗大ごみ処理設備 (処理能力：27 t／日) を併設 ・ごみ発電設備
リサイクルセンター	資源物の選別、圧縮・梱包、保管	缶類、びん類、ペットボトル	処理能力 11.2 t／日
	資源物等の貯留	新聞紙、ダンボール、雑誌等、紙パック、布類、白色トレイ、有害ごみ	計画平均貯留量 17.1 t／日
再生品の修理・再生展示施設	粗大ごみなどで出された廃棄物の中から使用可能なものを修理し、展示を行い、また、施設の説明等をする施設 <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール、見学者説明室、 ・工作室、展示施設 		熱回収施設工場棟内に設置